

## Ⅱ 労働者福祉事業

## Ⅱ 労働者福祉事業

### 1 労働災害に関する相談と休業補償給付の立替貸付

労働者が業務上の災害にあつて療養のため休業を要する場合、多くは労働者災害補償保険法に基づく休業補償給付金によって生活を維持することになる。

休業補償給付金の給付までには制度上日数がかかるため、生活に余裕や貯えのない日雇労働者にとって、深刻な生活問題となる。センターでは労働災害について事後の手続きなど広く相談を受けているが、特にこうしたケースに対して休業補償給付金の立替貸付制度を設けている。この事業は、資金面で大阪府の援助、手続き・指導面で大阪労働局と労働基準監督署の協力を得て実施している。

また、貸付金の回収は、各労働基準監督署より「受任者払い」の承認を受けて行い、あるいは一部「国庫送金」の形で行っている。

1989年（平成元年）以降、労災新規相談の減少が続いている。これを事業所サイドで見ると、長引く不況による工事量及び労働者需要の減少と、建設業元請事業所等による安全対策の推進等が背景にあると考えられる。また、地区における求人事業所の殆どが下請け・孫請け事業所であることから、元請事業所との関係で、事業所自身で休業補償の立替貸付を行いながら被災労働者の療養経過を把握・管理しようとするケースや、示談によって労災隠しをはかろうとするケースが増加傾向にあるとみられる。労働者サイドで見ると、高齢化と求職難にさらされているため、少々のケガなら労災適用の申し出をしなかったり、事業所ペースの示談にのってしまったりすることがある。当係への相談にのらない地区労働者の労災事故の中にも、このようなケースが増加しているものと推察される。また、被災労働者の訴えがあつても事業所が労災として認めようとしない、或いは労災と半ば認めながら労災手続きを行おうとしないため、労働基準監督署へ申告せざるをえないケースもあり、当センターでの立替条件を満たすことができない困難な相談も少なくない。（表Ⅱ-1）

本年度、新規相談は129件、前年度比15.7%減、新規立替者数は54名、対前年度比10.0%減となっている。その他の取扱状況は別表のとおりである。

（表Ⅱ-2～5、図Ⅱ-1）

### 2 労働安全の取り組み

地区労働者の90%以上が就労する建設業は、労働災害の発生数が多く、死亡災害を含む重大災害も多い。労災係が休業補償の立替やケースワークを行った被災労働者の中には、障害を残して労働不能に陥ったり、就労を大幅に制限されるに至った労働者も少なくない。一日中疼痛に悩まされる被災者もいる。負傷内容によっては被災者に深刻な影響をもたらすのが労働災害である。生活の不安定な地区労働者にとっては、特にその影響が大きいと言わねばならない。

一方、事業所にとつても、労働災害によって被る経済的損失は小さいものではない。特に景気低迷期で工事の受注が減少している今日、労働災害の発生状況によっては請負契約（施主・元請事業所間、元請・下請事業所間）に影響を受けるなどの声がある。

中でも下請事業所から元請事業所やすぐ上の得意先事業所との関係での厳しさを訴える多くの声が相談の過程で伝わってくる。

当センターは、約 1,400 社の求人登録事業所と約 20,000 人といわゆる日雇労働者の接点に位置し、その双方とのコミュニケーションが可能である。この立場上の特性を活かして、地区日雇労働者の労働災害を少しでも減らして行きたいと考え、労働安全の取り組みを行ってきた。

## 2003 年度(平成 15 年度)の主な労働安全推進の取組

- (1) 「センターだより」6月号に安全啓発の労災特集を、7月号に熱中症予防の記事を掲載した。
- (2) 労災事例の聞き取り調査(2000～2002年度の3年間)から建設関連の160ケースのまとめ(報告書の作成)を行った。前記6月号の安全啓発特集は、このまとめを基にして行った。
- (3) 労働者向け労災啓発「ピラ」の配布を5月～7月に行った。
- (4) 7月、羽柴秀吉氏と近畿建設専門工事業教育情報センター(KKS)主宰者の川口末夫氏の訪問を受け、羽柴氏より熱中症予防用の「ネックガード」300枚の寄贈があり、窓口紹介労働者に配布した。尚、その前年はKKSとその関係団体から「ネックガード」300枚の寄贈を受けて、窓口紹介労働者に配布している。
- (5) 4月より、自動血圧計を設置し(それまでは簡易な血圧計)、健康と労働安全のため、労働者の自己管理の一助となるよう活用の増進を図った。年間の利用者延数は、2,522人。

## 「立替にいたらなかったケースの状況」

(2003 年度内処理分 76 件の分析)

(表Ⅱ-1)

解決扱い	44
中止扱い	32

相談延べ日数	件数
1日～10日	52
11日～30日	12
31日～50日	1
51日以上	11

相談回数	件数
1回～5回	52
6回～10回	11
11回～30回	11
30回以上	2

相談内容		件数
解決	休業請求援助	11
	示談	16
	事業所立替	9
	障害請求援助	0
	再発申請	0
	労働基準監督署申告	4
	その他	4
中止 (本人来所せず)	労災適用の相談	20
	休業請求関係	1
	事業所よりの相談	2
	立替相談	3
	その他	6

2003年度(平成15年度) 労災休業補償立替貸付関係実施状況表

	新規 相談	貸付労働者に係わる相談及事務手続き 代理請求に係わる連絡調整事務					一括貸付 の相談	労災関係 の相談	貸付労働者 以外の相談		合計
		7号	8号	10号	その他	計			労災関係 の相談等	事務手続 の相談等	
4月	8	1	49	3	16	69	45	114	43	38	317
5月	6	1	48	6	16	71	33	67	64	62	303
6月	7	1	52	14	13	80	41	93	54	42	317
7月	14	11	75	10	22	118	25	100	69	65	391
8月	13	7	52	13	8	80	22	92	66	63	336
9月	7	1	71	34	12	118	44	79	74	53	375
10月	15	2	44	16	33	95	52	61	87	61	371
11月	9	11	62	3	26	102	53	53	63	25	305
12月	13	3	51	5	37	96	71	90	85	40	395
1月	12	7	53	11	27	98	61	84	71	32	358
2月	10	6	55	6	21	88	52	58	62	42	312
3月	15	3	67	9	23	102	59	102	85	52	415
合計	129	54	679	130	254	1,117	558	993	823	575	4,195
前年度計	153	27	812	136	261	1,236	354	1,651	1,128	801	5,323
前年度比	-15.7%	100.0%	-16.4%	-4.4%	-2.7%	-9.6%	57.6%	-39.9%	-27.0%	-28.2%	-21.2%
前々年度計	120	33	957	153	177	1,320	575	1,418	1,077	772	5,282
前々年度比	7.5%	63.6%	-29.0%	-15.0%	43.5%	-15.4%	-3.0%	-30.0%	-23.6%	-25.5%	-20.6%
年間計画	150					1,400				4,500	6,050

労災休業補償給付立替状況表

(表Ⅱ-2)

	新規 貸付	貸付 打切	貸付 実人員	貸付 延日数	補償費給付請求		
					7号	8号	10号
4月	5	8	34	820	1	34	2
5月	2	4	27	716	1	26	1
6月	4	4	31	711	0	27	4
7月	5	6	30	811	4	30	4
8月	5	6	29	708	1	28	3
9月	2	3	22	635	1	25	2
10月	7	5	26	688	0	24	3
11月	6	3	27	639	4	34	0
12月	6	4	29	866	2	32	2
1月	7	7	32	644	3	33	4
2月	1	2	25	641	2	30	1
3月	4	8	26	639	1	35	0
合計	54	60	83	8,518	20	358	26
前年度計	60	60	92	9,157	12	365	43
前年度比	-10.0%	0.0%	-9.8%	-7.0%	66.7%	-1.9%	-39.5%
前々年度計	54	65	94	10,922	14	438	48
前々年度比	0.0%	-7.7%	-11.7%	-22.0%	42.9%	-18.3%	-45.8%
年間計画			110				

2003年度(平成15年度) 労災休業補償給付立替貸付状況

(表Ⅱ-3)

月	貸付状況						B 収入金額	C 差額支払		差額預り金 前年度繰越額	D 差額預り金増減	E=B-C-D 財団回収金額	F=A-E 債権増減	債権残高 前年度繰越額	
	日々貸付		一括貸付		A計			件数	金額						
	件数	金額	件数	金額	件数	金額									
									5,956,941				5,475,127		
4月	212	3,598,000	22	623,870	234	4,221,870	7,349,426	46	4,044,992	5,249,847	-707,094	4,011,528	210,342	5,685,469	
5月	166	3,199,000	9	259,000	175	3,458,000	7,595,978	36	3,673,534	5,623,309	373,462	3,548,982	-90,982	5,594,487	
6月	135	3,310,000	23	552,716	158	3,862,716	6,540,000	25	2,159,409	5,335,411	-287,898	4,668,489	-805,773	4,788,714	
7月	140	3,708,000	13	295,990	153	4,003,990	7,655,872	37	4,128,434	5,588,898	253,487	3,273,951	730,039	5,518,753	
8月	146	3,283,000	18	503,000	164	3,786,000	7,676,610	28	2,888,282	5,882,950	294,052	4,494,276	-708,276	4,810,477	
9月	123	2,974,000	12	337,000	135	3,311,000	5,551,838	34	2,318,921	5,095,126	-787,824	4,020,741	-709,741	4,100,736	
10月	143	3,142,000	11	220,000	154	3,362,000	4,792,950	29	2,243,892	4,784,935	-310,191	2,859,249	502,751	4,603,487	
11月	158	2,884,000	21	338,206	179	3,222,206	4,081,793	18	1,400,822	5,124,003	339,068	2,341,903	880,303	5,483,790	
12月	177	3,849,000	13	247,420	190	4,096,420	7,542,917	39	3,022,727	5,241,570	117,567	4,402,623	-306,203	5,177,587	
1月	177	2,901,000	22	394,313	199	3,295,313	5,983,353	36	3,437,666	4,808,700	-432,870	2,978,557	316,756	5,494,343	
2月	138	2,968,000	14	345,000	152	3,313,000	6,264,669	30	2,828,705	4,637,604	-171,096	3,607,060	-294,060	5,200,283	
3月	180	2,921,000	17	320,000	197	3,241,000	5,673,286	33	2,813,206	4,255,076	-382,528	3,242,608	-1,608	5,198,675	
年度合計	1,895	38,737,000	195	4,436,515	2,090	43,173,515	76,708,692	391	34,960,590	4,255,076	-1,701,865	43,449,967	-276,452	5,198,675	
	労働者福利厚生準備金繰入額									1,235,892	債務免除額				204,730
	次年度繰越額									3,019,184	次年度繰越額				4,993,945
前年度計	2,678	42,948,000	171	4,711,213	2,849	47,659,213	86,000,209	327	35,849,138	7,109,205	1,842,314	48,308,757	-649,544	5,503,039	
	労働者福利厚生準備金繰入額									1,152,264	債務免除額				27,912
前々年度計	3,108	53,855,000	202	6,023,830	3,310	59,878,830	108,466,881	428	47,098,096	6,172,937	-23,405	61,392,190	-1,513,360	6,196,047	
	労働者福利厚生準備金繰入額									906,046	債務免除額				43,464

労災新規立替貸付者の状況

54 名

(表Ⅱ-4)

現在 扶養者有り		4	3.3%
住 所	西 成	46	85.2%
	そ の 他	8	14.8%
部屋代 (平均)	日 払	1,394 円	
	月 払	36,385 円	
雇用形態	日 雇	37	68.5%
	常 用	17	31.5%
安全教育	有	34	63.0%
産業分類	建 設	49	90.7%
	運 輸	1	1.9%
	製 造	2	3.7%
	そ の 他	2	3.7%
負傷現場	大阪市内	14	25.9%
	大阪府下	20	37.0%
	近畿府県	11	20.4%
	そ の 他	9	16.7%

負傷時刻	初～10時	14	25.9%
	10～12時	21	38.9%
	12～15時	9	16.7%
	15～17時	8	14.8%
	17時以降	2	3.7%
※ 負傷部位	手 部	13	24.1%
	足 部	25	46.3%
	頭 首 部	3	5.6%
	腰 部	6	11.1%
	胸 部	5	9.3%
	そ の 他	6	11.1%
※ 傷病名	挫 傷	3	5.6%
	切 創	3	5.6%
	打 撲	3	5.6%
	捻 挫	3	5.6%
	骨 折	35	64.8%
	そ の 他	10	18.5%

※については重複有り

年齢分布

～30歳	1	1.9%
31歳～35歳	2	3.7%
36歳～40歳	4	7.4%
41歳～45歳	2	3.7%
46歳～50歳	9	16.7%
51歳～55歳	19	35.2%
56歳～60歳	9	16.7%
61歳～65歳	6	11.1%
66歳以上	2	3.7%

休業補償日額(円)	最 高	10,512
	最 低	3,466
	平 均	7,358

最高年齢	66歳
最低年齢	27歳
平 均	51.5歳

立替打切者の状況

60 名

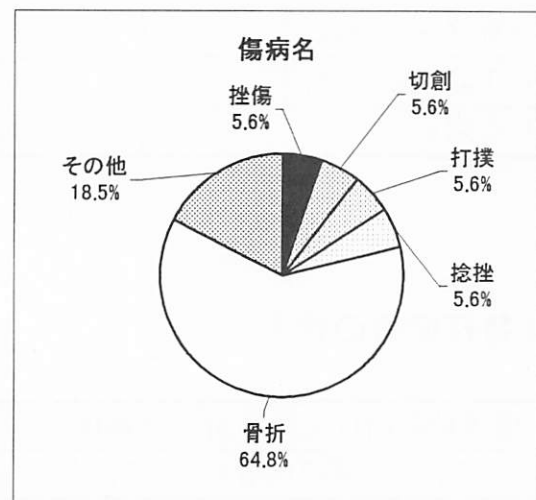
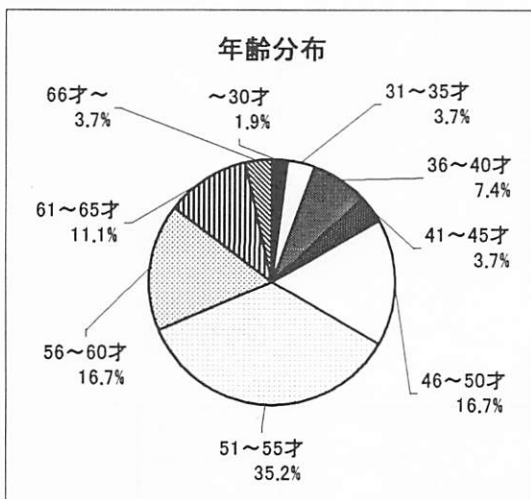
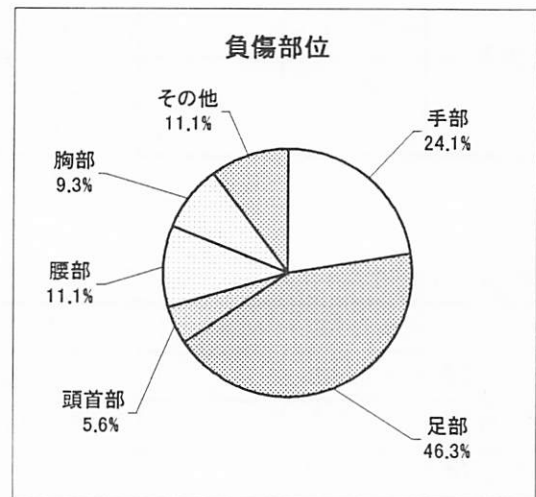
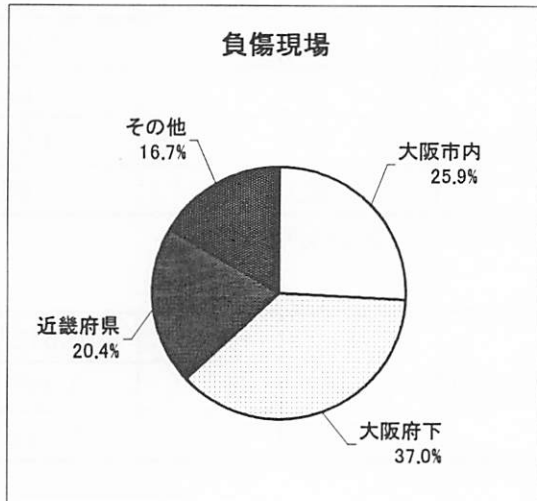
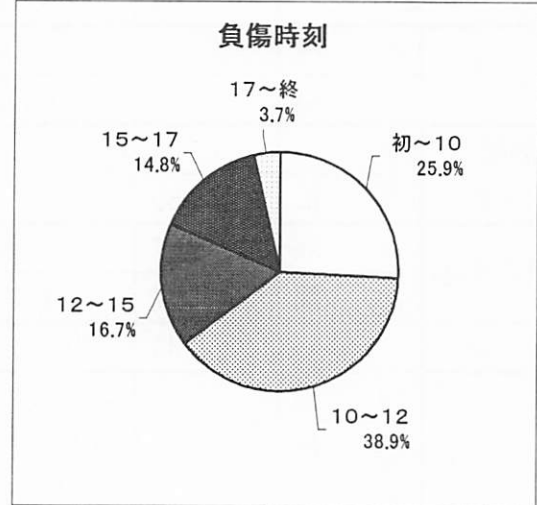
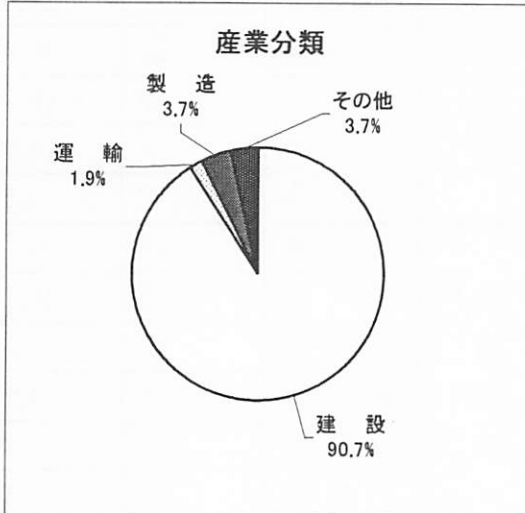
(表Ⅱ-5)

傷害補償給付支給申請請求者数
25名 (立替打切者の41.7%)

貸付日数	最 高	774
	最 低	0
	平 均	137.1
	延 日 数	8,227

# 労災新規立替貸付者の状況

(図Ⅱ-1)



### 3 労働相談

地区労働者はセンター窓口紹介や相対紹介の他にも、さまざまな経路を経て広範な地域へ就労している。相談労働者の就労先はほぼ建設業であり、下請・孫請に雇用されている。その中には、労働条件があいまいなためトラブルの発生するケースもある。また労働者本人の都合や就労先での諸事情から中途退職した結果、賃金未払となる事例も多く生じている。

こうした問題に対して、センターでは労働相談の窓口を設けている。相談の処理にあたっては、労働者自身が自分の問題としての自覚を持って、相手と交渉することを前提として援助するという立場を取っている。

本年度の傾向としては景気の低迷・就労機会の減少を反映し、労働相談の新規受付及び継続件数は昨年度に引き続き減少した。

#### (1) 労働相談実施状況

##### ① 取扱状況

労働相談の新規受付件数は、694件（「相談記録」作成分＋当日処理可能と判断する簡易な「相談処理票」によるもの）で前年度比32件4.4%の減少となった。

継続ケースの再来相談についても2,595件で、594件18.6%の減少となった。

事業所への指導は92件で、解決の困難なケースなど労働基準監督署に申告したものは18件となった。 (表Ⅱ-6)

##### ② 終結状況

前年度からの繰越を含めて取扱総件数は743件であり、その内訳は解決（相談記録＋相談処理票）607件、中止55件。次年度繰越は81件であった。

解決の内支払金額の判明している分は417件16,637,797円であった。そのうち事業所から予め送金・持参されたものが89件あり、条件違反を伴っていたケースは25件となっている。 (表Ⅱ-6)

##### ③ 生活相談・その他

相談には、せっぱ詰まった生活相談を伴った場合が多くある。賃金が送付されて来るまでのつなぎ資金や、受領に行くための交通費の貸付を訴える相談等は483件となった。 (表Ⅱ-6)

#### (2) 終結状況の内容

相談記録による解決(458件)と中止(55件)の内容は、以下のとおりである。

(表Ⅱ-7・8、図Ⅱ-2)

##### ① 未払日数

最高は70日、最低0.5日、15日までの未払日数が77.6%を占める。

##### ② 退職申し出

退職時に申し出をしているもの377件(73.5%)で、無断退職129件(25.1%)



であった。

### ③ 就労経路

センターの窓口紹介が 97 件（18.9%）、相対紹介や手配師による直接募集は 349 件（68.0%）で、合わせて全体の 86.9%となっている。

### ④ 年齢構成

41 歳～55 歳が 328 名で全体の 63.9%におよんでいる。

平均年齢は 51.2 歳となった。

### ⑤ 退職理由

主なものは「健康・体力上のことなど」109 件（21.2%）、「仕事がきつい・使い方が荒い」41 件（8.0%）であり、計 29.2%となっている。今年度も「仕事が少なく休みが多い・多くなりそう」83 件、「仕事がないので帰ってくれ」2 件、「経営状態に不安」4 件と、不況の影響が反映されている。

## (3) 朝日建設（山梨県都留市）の相談について

2003 年（平成 15 年）10 月に 3 名の殺人死体遺棄事件（2000 年 5 月頃）の新聞報道があり、地区労働者が 2 名犠牲になっていた事が分かった。センターでの朝日建設にかかわる相談は、主に 1999 年（平成 11 年）である。

朝日建設は 1999 年（平成 11 年）1 月頃より地区内での求人活動を行い、その直後から賃金未払の労働相談を受けた。センターでは朝日建設に対し、求人事業所登録要件である日雇雇用保険印紙購入通帳の交付を地元の都留公共職業安定所で受けて、センターへの求人事業所登録を行い、労働基準法を遵守して求人活動をするよう指導すると共に、相談を受けている賃金未払についての指導を行った。

相談の主な内容	<ul style="list-style-type: none"><li>① 西成では賃金日額 10,000 円、宿舍費控除 2,000 円しか示されず、都留に行ったら賃金 9,000 円、宿舍費控除 2,500 円の条件での就労があった。</li><li>② 職種が「土工」と聞いていたが、「解体」の仕事もあった。</li><li>③ 雇用期間が「1ヶ月」と言っていたのに、「定めなし」だった。</li><li>④ 賃金支払が所定の日に行われない。（この問題が最多）</li><li>⑤ 賃金を毎日 1,000 円するとの約束が履行されない。</li><li>⑥ 宿舍を出発するのが、午前 5 時頃の現場がある。</li><li>⑦ 宿舍が数箇所あり、プレハブや民家の相部屋で、不衛生で雑魚寝状態の所がある。</li></ul>
---------	--

しかしながら、労働相談が激増したことから、あいりん労働公共職業安定所、大阪南労働基準監督署に通報し協力要請を行い、地元山梨県の都留公共職業安定所、都留労働基準監督署と一体となって解決を図ってきた。

また、地区労働者へは、事業所名を明示して就労注意の張り紙を掲示するなど、就労に際しては十分注意するよう周知を図った。

こうした中で、センターは朝日建設に対し地区での求人活動を止めるよう求め、都留公共職業安定所からの指導もあり、朝日建設はあいりん地区での募集を止める旨の意思表示

がされた。その後、相談にきた労働者からも「10月中頃には西成の労働者は居なくなり、宿舎は関東方面の労働者40～50人になった。」との報告を受け、賃金未払等も一応の解決を見た。

以上のような経過のもと、大阪南労働基準監督署へ経過説明を行い、2000年(平成12年)以降の相談は、労働者本人が大阪南労働基準監督署に相談に行き、申告してもらう事となった。

今回の事件を受けて、改めて賃金未払の労働者がいないかの広報を行ったところ、10月の事件報道以後23件の新たな相談を受けた。

現在、都留労働基準監督署において「賃金の支払いの確保等に関する法律」に基づく立替払いに該当する労働者へは、立替払いの準備をすすめており、すでに支払われた者もいる。また、立替払いに該当しない労働者へは、都留労働基準監督署より元請及び中間元請事業所に未払賃金処理への協力依頼を行っている。就労団体による支援もあり、中間元請事業所より未払賃金の支払いを受けた者も出ている。

	相談件数	終結件数	備 考
1998年度(平成10年度)	10	9	平成11年当時の最高支払額392,918円、平均79,000円。
1999年度(平成11年度)	112	113	
2000年度(平成12年度)	12	12	
2001年度(平成13年度)	36	25	平成14年度までの相談は、平成15年度中に受け取りに来ていない1件を除き、全て終結。
2002年度(平成14年度)	19	25	
2003年度(平成15年度)	29	8	事件報道以後の新規相談は23件 (賃確法適用4名、中間元請による支払5名)
合 計	218	192	

※ 終結件数とは、解決と中止の合計。

2003年度(平成15年度)労働相談実施状況表

	取扱状況					終結状況								次月へ繰越相談記録	
	新規			再来継続	合計	労基署へ申告	解決				支払い金額(判明分)		中止		条件違反
	記録	処理表	計				記録	内予め	処理表	計	件	円			
4月	65	12	77	262	339	1	51	6	12	63	46	1,684,747	3	0	60
5月	20	10	30	192	222	1	17	5	10	27	15	703,544	2	0	61
6月	21	13	34	166	200	0	26	5	13	39	20	979,188	5	1	51
7月	24	7	31	140	171	1	27	5	7	34	23	1,121,888	4	2	44
8月	35	9	44	180	224	1	40	9	9	49	38	1,275,871	7	2	32
9月	51	16	67	194	261	0	38	6	16	54	37	1,420,137	2	4	43
10月	53	12	65	217	282	0	38	10	12	50	37	926,822	4	0	54
11月	56	13	69	219	288	1	42	8	13	55	41	1,494,800	8	3	60
12月	54	10	64	234	298	5	49	13	10	59	49	2,738,322	0	4	65
1月	37	8	45	178	223	7	29	7	8	37	27	889,073	11	5	62
2月	50	13	63	207	270	0	37	5	13	50	30	1,144,724	4	1	71
3月	79	26	105	406	511	1	64	10	26	90	54	2,258,681	5	3	81
年度合計	545	149	694	2,595	3,289	18	458	89	149	607	417	16,637,797	55	25	81
前年度合計	545	181	726	3,189	3,915	31	495	84	181	676	433	19,102,512	67	15	49
前年度比	0.0%	-17.7%	-4.4%	-18.6%	-16.0%	-41.9%	-7.5%	6.0%	-17.7%	-10.2%	-3.7%	-12.9%	-17.9%	66.7%	65.3%
前々年度計	720	219	939	3,555	4,494	20	677	103	219	896	614	27,088,701	41	22	66
前々年度比	-24.3%	-32.0%	-26.1%	-27.0%	-26.8%	-10.0%	-32.3%	-13.6%	-32.0%	-32.3%	-32.1%	-38.6%	34.1%	13.6%	22.7%
年度計画			900	4,000											

その他相談状況表(労相・労災取扱分)

(表Ⅱ-6)

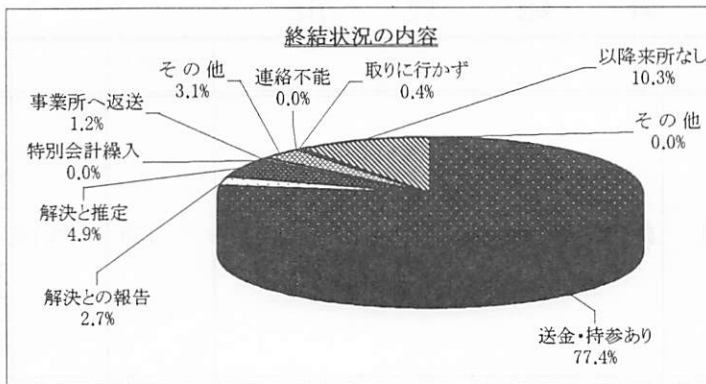
生活相談			その他の相談				合計	血圧	聞き取り調査	事業所指導
措置内容			就労相談	建退共	その他	計				
現金	その他	計								
21	24	45	70	1	180	251	296	203	2	5
7	26	33	58	1	172	231	264	209	0	3
6	31	37	47	0	144	191	228	208	1	2
9	31	40	47	11	169	227	267	288	0	1
9	33	42	36	0	155	191	233	281	1	3
10	28	38	54	2	162	218	256	243	4	6
10	29	39	55	3	175	233	272	268	7	4
6	25	31	55	3	145	203	234	169	6	3
6	22	28	44	1	171	216	244	132	2	41
13	28	41	46	0	225	271	312	166	0	9
9	28	37	53	1	195	249	286	138	2	7
16	56	72	69	1	223	293	365	217	0	8
122	361	483	634	24	2,116	2,774	3,257	2,522	25	92
147	569	716	653	38	3,478	4,169	4,885	1,317	32	68
-17.0%	-36.6%	-32.5%	-2.9%	-36.8%	-39.2%	-33.5%	-33.3%	91.5%	-21.9%	35.3%
176	487	663	584	95	4,017	4,696	5,359	227	61	78
-30.7%	-25.9%	-27.1%	8.6%	-74.7%	-47.3%	-40.9%	-39.2%	1011.0%	-59.0%	17.9%
		900	4,000							100

終結状況の内容

(表Ⅱ-7)

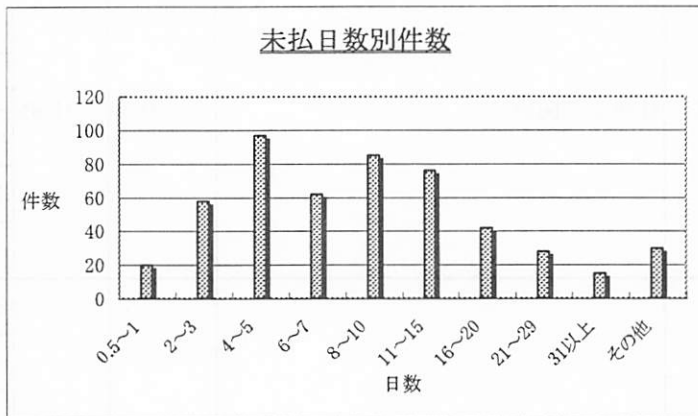
(図Ⅱ-2)

	相談件数	比率(%)
解決	送金・持参あり	397 77.4%
	解決との報告	14 2.7%
	解決と推定	25 4.9%
	特別会計繰入	0 0.0%
	事業所へ返送	6 1.2%
	その他	16 3.1%
	中止	連絡不能
取りに行かず		2 0.4%
以降来所なし		53 10.3%
その他		0 0.0%
合計		513 100.0%



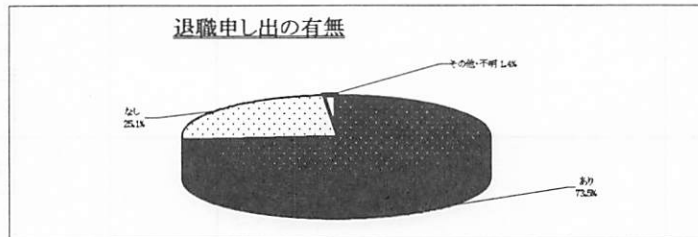
未払日数

未払日数	相談件数	比率(%)
0.5 ~ 1	20	3.9%
2 ~ 3	58	11.3%
4 ~ 5	97	18.9%
6 ~ 7	62	12.1%
8 ~ 10	85	16.6%
11 ~ 15	76	14.8%
16 ~ 20	42	8.2%
21 ~ 29	28	5.5%
31 以上	15	2.9%
その他	30	5.8%
合計	513	100.0%



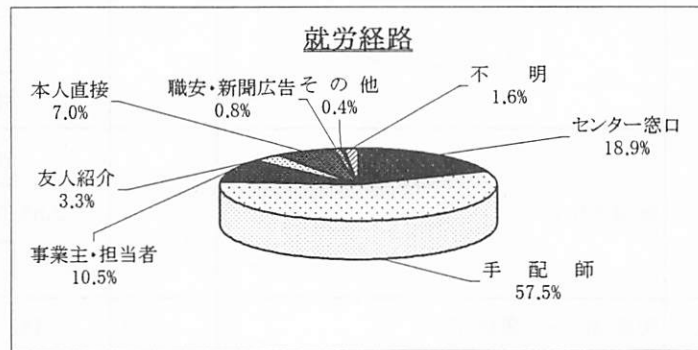
退職申し出の有無

退職申し出	相談件数	比率(%)
あり	377	73.5%
なし	129	25.1%
その他・不明	7	1.4%
合計	513	100.0%



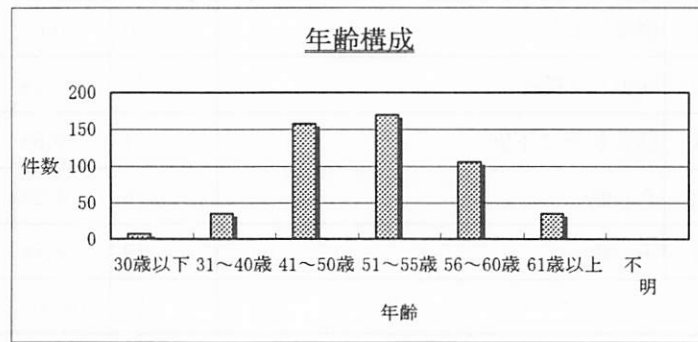
就労経路

就労経路	相談件数	比率(%)
センター窓口	97	18.9%
手配師	295	57.5%
事業主・担当者	54	10.5%
友人紹介	17	3.3%
本人直接	36	7.0%
職安・新聞広告	4	0.8%
その他	2	0.4%
不明	8	1.6%
合計	513	100.0%



年齢構成

年齢	相談件数	比率(%)
30歳以下	8	1.6%
31~40歳	35	6.8%
41~50歳	158	30.8%
51~55歳	170	33.1%
56~60歳	106	20.7%
61歳以上	35	6.8%
不明	1	0.2%
合計	513	100.0%
平均年齢	51.2歳	



退 職 理 由

(表Ⅱ-8)

		相談件数	%	退 職 理 由 の 詳 細	内 数
①	自己都合によるもの	170	33.1%	イ. 健康上の理由・体力上の理由	109
				ロ. 遊びに出てそのまま戻らず	7
				ハ. 酒の飲みすぎやケンカ等でいづらくなって	15
				ニ. 他用ができたため	17
				ホ. その他	22
②	仕事上の関係	163	31.8%	イ. 仕事がきつい・使い方が荒い	41
				ロ. 超過勤務(早出・残業)が多い	1
				ハ. 仕事が少なく休みが多い・多くなりそう	83
				ニ. 仕事が自分にあわなかったため	11
				ホ. 現場が落石などで危険なため	0
				ヘ. その他	27
③	労働条件違反を主たる理由とするもの	17	3.3%	イ. 契約日数の違い	0
				ロ. 賃金の違い	0
				ハ. 作業内容の違い	3
				ニ. 宿舍費等控除項目や金額の違い	0
				ホ. 賃金支払日の違い	12
				ヘ. その他	2
④	宿舍の待遇・居住性・雰囲気に対する不安	29	5.7%	イ. 事業所側の宿舍管理や宿舍に不満	6
				ロ. 前貸しに不満(額や貸し方等)	4
				ハ. 施設内容や衛生状況が良くない	8
				ニ. 食事内容が良くない	5
				ホ. その他	6
⑤	解雇されて	13	2.5%	イ. 本人に原因があるとしての解雇	10
				ロ. 仕事減少・仕事切れ等を理由とする解雇	2
				ハ. その他	1
⑥	契約満了・工事終了	69	13.4%		69
⑦	労災事故による	5	1.0%		5
⑧	倒産による	0	0.0%		0
⑨	同僚との関係	18	3.5%		18
⑩	経営状況に不安	4	0.8%		4
⑪	その他	6	1.2%		6
⑫	不明	19	3.7%		19
合 計		513	100.0%		513

## 4 医療相談

医療を求める労働者に対し、計 35,939 件の相談や措置を行った。内訳は、簡易処置として傷テープの配布及び軽微な処置 10,903 件、診療の必要な者に大阪社会医療センターへの依頼 9,093 件、他の医療機関や相談所への案内として他機関案内 1,020 件、救急車の依頼 23 件などであった。冬期を中心に、痰や鼻汁の始末など衛生援助の一環として 14,900 件のポケットティッシュを配布した。(表Ⅱ-9)

## 5 労働者援護

### (1) 短期宿泊援助

仕事に就けないとか、働いた賃金が受け取れないなどの事情で困っている労働者への援助として、大阪自彊館(三徳寮)に宿泊と食事の提供を依頼している。

本年度は相談件数 2,533 件、依頼 1,410 件で、実際に宿泊したのは 1,394 件であった。

別途、大阪府簡易宿所生活衛生同業組合の協力申し出により、平成 11 年 8 月から簡易宿泊所へ無料宿泊紹介を行っている。平成 14 年 9 月以降は 1 日 6 名を限度とし、今年度は計 700 件の紹介を行った。

### (2) 疾病援助

困窮している労働者に対し、衣類、洗面セットなどの物品援助を 22,383 件行った。給付の物品は購入による物のほか、下記の篤志家、12 名からの寄贈品を合わせて支給した。

寄贈頂いた方のご芳名は、磯野重雄、山口正義、渥美正忠、兼森和子、小峰和子、吉田嘉津子、大泉千恵子、山崎順子、庄野久隆、村上久代、野村千鶴、宮本(フルネーム不祥)でございます。

又、昨年度と同様、冬期(12月22日～3月13日)の約3ヶ月間、使い捨てカイロの支給を行った。1月と2月には桐灰化学株式会社からカイロの寄贈があり、合わせて支給したことから、件数は昨年と比べ倍増した。

### (3) 生活援助

就労・賃金受領・労災手続き等のため、その日の食事代や宿泊費・交通費に困っている労働者に対し、実費程度の少額の金銭援助を行った。本年度の相談数は 503 件、措置は 130 件であった。(表Ⅱ-9)

### (4) 労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

「労働関係相談」は、就労するために事業所の住所・電話番号を調べたり、電話の貸付等が 1,476 件、雇用保険の相談が 771 件あり、合計 2,247 件であった。

「建設業退職金共済制度」(建退共)は建設業に就労する労働者の退職金制度で、制度の案内 337 件、手帳作成相談 149 件、手帳作成手続の援助 63 件を行った。

「生活身上相談」は合計 4,519 件であった。内訳は、住民登録のための相談 1,009 件、健康保険に関するもの 508 件、郵便物の取扱 2,871 件、公団住宅(単身者用)や交通事故の保険請求に係わる所得証明 15 件、尋ね人 51 件、落とし物 65 件などであった。

住民登録の手続き 254 件は、雇用保険手帳を作ることを目的に行われる場合が大半を占めている。また、近年は高齢化を反映し、年金受給や脱退一時金の給付のための手続きも増える傾向にある。

手続きに際して、郷里と長い間連絡を取らずにいたり、以前の住所地がハッキリしないなど、簡単に転出手続きができないこともしばしばである。また、請求しても長期間不在のため職権消除されていることも多く、二度三度のやり取りを行うことがある。更に、戸籍そのものが失踪宣告によって除籍されている場合は、復籍のため家庭裁判所へ手続きをする必要があり、本年度は 2 件あった。

健康保険の送付手続きは、遠隔地に出張している労働者が帰阪し、資格確認の手続きをおこなったものの、取次ぎに一日かかるため、出張先へ保険証を送って欲しいという要望にもとづいたものである。本年度は 135 件であった。

その他の相談は、センター業務の説明や他施設・機関に関する苦言、「単身者住宅の空き家情報を知りたい」「針と糸を貸してくれ」「爪切りを貸してくれ」など日常生活を補うこまごました要望のほか、飲酒者への対応 879 件を含めて 6,636 件であった。

主な、業務の歴年変化は（図Ⅱ-3）のとおりである。 （表Ⅱ-10）

## 6 労働者福利厚生

恒例の「たそがれコンサート」を9月4日（木）に三角公園（萩之茶屋南公園）で開催した。府立淀川工業高等学校吹奏楽部を招いての演奏会は14回を数え、地区労働者が高校生と交流する場ともなり、すっかり定着している。当日は約 1,800 人の労働者が集まり、懐かしのメロディーなどの演奏に憩いのひと時を過ごした。

11月17日（月）には 38 名の参加を得て「将棋愛好者のつどい」を開催した。和気あいあいのうちに勝ち抜き戦が繰り広げられた。森 信雄 六段（日本将棋連盟）の指導対局も恒例になり、多面打ちで熱戦に持ち込む参加者の姿もあった。

また、「わが街歴史発見ウォーク」を春と秋の二回行った。これは、街の歴史を学びたいという声に応え、地域の歴史家の協力で実現している。

その他、シャワールームの無料開放に協力し、タオル、石鹸、カミソリを給付した。

無料開放は、夏期は8月15～21日の日曜日を除く6日間（利用者 1,600 人）、冬期は12月27日と1月5・6・7日の4日間（利用者 679 人）であった。

## 7 広報・啓発活動

センターの広報紙として「センターだより」を毎月15日に 2,500 部 発行し、事務所窓口や寄り場の中央詰所で配布している。また、地域の関係団体に持参することで地域情報を得るなど、広報紙を通じた交流が深まっている。

紙面内容は、編集委員会によって検討され、求人情報、技能講習の案内、労働関係の啓発事項、地区情報、健康管理の知識など幅広い情報を提供している。

また特集号をA3版で編集し、内容を豊富にしたり、2色刷りで明るく読みやすい紙面にするなどの工夫を行っている。

一年の主要掲載記事は、（表Ⅱ-11）のとおりである。そのほか号外として「センター周辺案内図」、熱中症、高血圧への健康知識など3種類を発行した。また、仕事や生活に役

立っている「労働者便利帳」を改定し、6,000部を発行、好評を得ている。

## 8 日雇労働者福利厚生措置事業

日雇労働者の福祉の増進を図るために本年度は、夏期に16,900円を8,948人に支給し、冬期に18,400円を8,401人に支給した。

(表Ⅱ-14)



2003年度(平成15年度) 医療、緊急措置相談状況表

(表Ⅱ-9)

	医 療 相 談							緊 急 措 置 相 談											
	傷テープ	処 置	ティッシュ	診療依頼	他機関 案内	救急車 依頼	※合計	短期宿泊(自彊館三徳寮)				簡宿 紹介	疾 病 援 助			生 活 援 助			
								相談	依頼	宿泊	返戻		衣類	洗面セット	カイロ	合計	相談	措置	返戻
4月	1,214	31	1,800	936	81	1	2,263	417	144	142	96	82	65	228	0	293	37	13	4
5月	894	31	600	862	108	4	1,899	304	139	139	90	81	65	220	0	285	52	17	4
6月	833	32	200	808	97	1	1,771	271	138	138	74	60	47	197	0	244	42	10	8
7月	1,022	35	400	814	68	1	1,940	167	121	119	91	60	35	181	0	216	28	5	5
8月	750	30	200	732	65	0	1,577	174	111	111	106	47	48	157	0	205	36	11	7
9月	777	26	200	698	81	1	1,583	192	115	115	82	66	61	180	0	241	41	6	4
10月	979	42	200	794	95	3	1,913	172	111	109	88	51	91	162	0	253	47	11	0
11月	768	39	300	577	86	1	1,471	144	99	97	75	52	79	151	0	230	42	8	5
12月	942	36	700	576	77	2	1,633	135	95	93	71	33	67	128	1,620	1,815	32	6	4
1月	727	26	3,000	844	94	2	1,693	247	128	127	96	68	67	198	6,920	7,185	47	11	4
2月	805	26	4,200	618	74	2	1,525	120	91	88	96	45	8	136	7,780	7,924	42	12	6
3月	807	31	3,100	834	94	5	1,771	190	118	116	81	55	20	172	3,300	3,492	57	20	7
年度合計	10,518	385	14,900	9,093	1,020	23	21,039	2,533	1,410	1,394	1,046	700	653	2,110	19,620	22,383	503	130	58
前年度合計	11,024	267	14,300	8,114	900	18	20,323	2,442	1,399	1,386	1,037	699	1,111	2,101	8,880	12,092	128	91	45
前年度比	-4.6%	44.2%	4.2%	12.1%	13.3%	27.8%	3.5%	3.7%	0.8%	0.6%	0.9%	0.1%	-41.2%	0.4%	120.9%	85.1%	293.0%	42.9%	28.9%
前々年度合計	11,577	246	—	8,081	881	29	20,814	2,711	1,418	1,404	1,052	629	913	2,049	2,400	5,362	158	110	50
前々年度比	-9.1%	56.5%		12.5%	15.8%	-20.7%	1.1%	-6.6%	-0.6%	-0.7%	-0.6%	11.3%	-28.5%	3.0%	717.5%	317.4%	218.4%	18.2%	16.0%
年度計画	24,000			8,400	960		33,360		1,400			780	14,400				180		

※ 医療相談の合計は、ティッシュを含まず。

※ 疾病援助のうちカイロは、12月22日より3月13日までの間支給する。

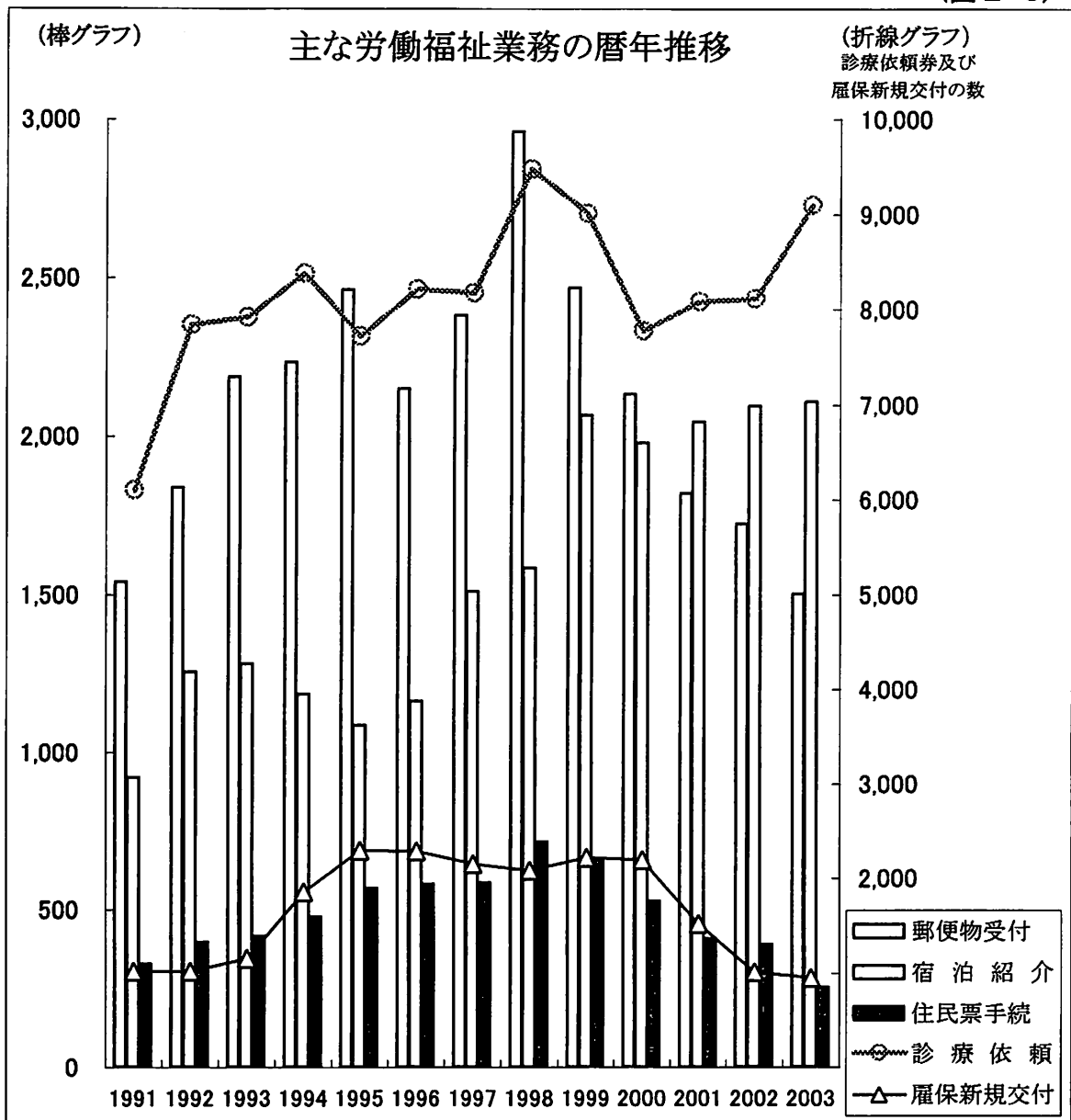
2003年度(平成15年度) 労働関係、生活身上相談状況表

(表Ⅱ-10)

	労働関係相談								生活身上相談											その他	
	就労 関係	雇用保険		建退共手帳			合計	手続	戸籍住民票		健保・年金		郵便物受け渡し		所得 証明	尋ね人	落し物	合計	手続	飲酒者	その他 合計
		相談	手続	案内	相談	手続			相談	手続	相談	手続	相談	手続							
4月	100	42	1	20	13	4	175	5	80	24	21	8	159	148	0	6	12	426	32	69	523
5月	128	51	3	30	12	4	221	7	75	26	40	18	116	110	3	7	1	352	44	70	459
6月	120	50	2	22	8	4	200	6	87	23	47	13	131	121	1	4	5	396	36	63	492
7月	121	64	0	15	9	3	209	3	76	15	50	14	101	94	5	4	6	336	29	80	513
8月	115	64	1	16	6	3	201	4	90	16	45	9	130	99	2	3	12	381	25	65	436
9月	117	65	0	38	16	9	236	9	81	19	42	13	113	101	1	6	6	350	32	75	467
10月	137	84	0	34	15	6	270	6	101	28	53	11	132	129	1	4	5	425	39	92	516
11月	129	65	1	34	15	7	243	8	81	19	52	11	110	99	1	2	4	349	30	79	431
12月	106	76	2	27	10	4	219	6	78	20	41	9	125	121	0	4	3	372	29	53	405
1月	126	68	1	38	16	8	248	9	84	24	33	11	134	109	0	2	6	368	35	69	493
2月	120	65	1	29	17	6	231	7	78	17	41	10	112	107	0	4	2	344	27	74	464
3月	157	77	1	34	12	5	280	6	98	23	43	8	140	130	1	5	3	420	31	90	558
年度合計	1,476	771	13	337	149	63	2,733	76	1,009	254	508	135	1,503	1,368	15	51	65	4,519	389	879	5,757
前年度合計	1,173	652	6	283	131	105	2,239	111	1,094	391	325	244	1,723	1,586	24	113	77	4,942	635	842	4,707
前年度比	25.8%	18.3%	116.7%	19.1%	13.7%	-40.0%	22.1%	-31.5%	-7.8%	-35.0%	56.3%	-44.7%	-12.8%	-13.7%	-37.5%	-54.9%	-15.6%	-8.6%	-38.7%	4.4%	22.3%
前々年度合計	1,362	735	14	284	153	97	2,534	111	918	408	377	302	1,820	1,610	33	86	103	4,947	710	878	4,145
前々年度比	8.4%	4.9%	-7.1%	18.7%	-2.6%	-35.1%	7.9%	-31.5%	9.9%	-37.7%	34.7%	-55.3%	-17.4%	-15.0%	-54.5%	-40.7%	-36.9%	-8.7%	-45.2%	0.1%	38.9%
年度計画	1,800				180					420		300			3,600						

※ その他合計には住宅案内を含む。

(図Ⅱ-3)



年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
郵便物受付	1,540	1,839	2,188	2,235	2,463	2,152	2,382	2,961	2,468	2,135	1,820	1,723	1,503
宿泊紹介	920	1,255	1,282	1,185	1,087	1,162	1,511	1,584	2,068	1,981	2,047	2,098	2,110
住民票手続	329	397	416	478	568	581	585	716	662	527	408	391	254
診療依頼	6,097	7,839	7,917	8,379	7,721	8,211	8,171	9,474	9,010	7,780	8,081	8,114	9,093
雇保新規交付	1,013	1,015	1,149	1,853	2,291	2,282	2,148	2,081	2,215	2,192	1,519	1,010	950

〈注釈〉 郵便物受付とは、生活身上相談の郵便物を受理した件数  
 宿泊紹介とは、緊急措置相談による短泊依頼数と簡宿紹介数の合計数  
 住民票手続とは、生活身上相談の住民票手続件数  
 診療依頼とは、大阪社会医療センターへの診療依頼券の発行枚数  
 雇保新規交付とは、あいりん職安が発行した雇用保険被保険者手帳の新規交付数

# 2003年度 センターだより主要掲載記事一覧

(表Ⅱ-11)

発行月	号数	1 面	2 面
4月	335	技能講習案内 特掃登録案内	「歴史発見ウォーク」案内 健康豆知識②手三里
5月	336	メーデー会場清掃作業ルポ 連合大阪・田中氏よりメッセージ	「歴史発見ウォーク」(十三間川)報告 特掃登録者数 輪番紹介でのお願い
6月	337	労働災害アンケート報告	センターの窓口案内(図示) 健康豆知識③中かん(胃の弱い方に)
7月	338	「アルミ缶回収これも仕事」	雇保・健保手帳作成の案内 事業主懇談会報告 熱中症に注意しよう
8月	339	地域NPO紹介⑤釜ヶ崎ストロームの家 たそがれコンサート案内 ソーメン代支給の案内	簡宿無料宿泊2700人 健康豆知識④きょう車(歯の痛みに) 『犬はつないで飼いましょう』
9月	340	建退共手帳作成の呼びかけ 建退共手帳預かり(よびだし) 「ホームレス自立支援法でどうなる」	たそがれコンサート報告 「歴史発見ウォーク」(博覧会あと)案内
10月	341	「歴史発見ウォーク」(天王寺博覧会百年)報告 コマツでの技能講習修了証の再交付について 「将棋愛好者のつどい」案内	自立支援センターの技能講習事業 (みおつくし福祉会) 健康豆知識⑤百会(頭痛に)
11月	342	「ビッグイシュー」 「将棋愛好者のつどい」案内	「契約求人について」 「投票へいこう」
12月	343	地域NPO紹介⑥サポータティブハウス連絡協 南港臨泊案内・モチ代支給案内 べんりちょう配布案内	「将棋愛好者のつどい」(報告) 年未年始関係機関窓口案内
1月	344	理事長挨拶 べんりちょう配布案内 モチ代支給案内	新年メッセージ (阪神・井川慶投手、歌手/中村美律子) クロスワードパズル
2月	345	センター紹介の公的就労事業・現場訪問 使い捨てカイロの寄付	新シェルター・オープン クロスワード回答と当選者 健康豆知識⑥商陽(かぜのひき始めに)
3月	346	2004年度特掃登録案内(絵入り)	花見スポット 「歴史発見ウォーク」(災害)案内

## 常設記事

- ・求人情報
- ・技能講習案内
- ・『カマヤん』
- ・およびだし ・投稿
- ・たずねびと ・釜ヶ崎日誌
- ・結核検診結果
- ・建退共手帳預かっています

2003年7月20日(号外)

「暑さ大敵<<熱中症>>ゆだんなく」

年間随時改定発行(号外)

「えっ放っておくと怖い 高血圧」

年間随時改定発行(号外)

(表面)センター周辺案内(地図)

(裏面)関係機関案内(地図)

# センターだより

第345号  
2004年2月15日発行  
(財)西成労働福祉センター  
大阪市西成区萩之茶屋1-3-44  
506-6641-0131

## 地域の人びとに 喜ばれている こうふきんじろう 交付金事業

### センター紹介の公的就業事業のいろいろ

しようかい こうてきしゅうろうじぎょう

センターで紹介している輪番の高齢者特別清掃の多くの部分や、周辺環境整備、森林作業などは、国の「緊急地域雇用創出特別交付金」によるもので、この交付金の期限は来年度末までとなっております。現場を訪問して、みなさんの声を聞きました。

以前より建設・土木の仕事が少なくなっている現在、これらの仕事は、たいへん労働者に喜ばれており、仕事の内容も有意義なものといえます。

●高齢者特別清掃●  
地区日雇い労働者(55才以上)が対象。毎年3〜4月に登録。一日約250名を輪番で紹介。月に3回程度の就労となっております。



北港ヨットハーバー (此花区)

Aさん「特掃に参加して3年になります。普段は道路清掃を選ぶことが多いです。もつと特掃の順番が回ってくる回数を増やしてほしいです」

#### 【センター内清掃】



#### 【フェスティバルゲート清掃】



Eさん「ここは3ヶ月ぶりや近いことと、3人だけなのでまとまりやすところがいい。今日の五千七百円? 次の輪番まで持たせたいけど、三日がせいぜいやな」

#### 【草刈り】



Kさん「草刈りの紹介は人数が少ないけど、あれば必ず選ぶことにしている。毎日でもよいが、週に3日は仕事をさせてほしい。特掃の仕事ならまだまだできる」

大阪市立弘済院 (吹田市)

#### 【道路清掃】



Tさん「特掃に当たった日だけドヤに泊まって生きかえる。2〜3日だけ食事ができる。あとはシエルターでカンパンや。なんとかしてくれ」

#### ●周辺環境整備●

##### (ガードマン)

偶数月の第一水曜日に抽選し、紹介しています。センター寄場周辺が現場です。

Sさん「だいぶ待った。やつとの仕事やけど、今日は特別冷たいわ。この冬一番の寒さはこたえるねえ。足の指先が冷たいよ。そやけど、一週間続けて仕事があるのはホッとする。うれしい」

### 技能講習事業の科目と日程

受付9時〜10時 選考10時〜 午後説明会

科目	人数	受付	日程
車両系(整地ほか用) 大特免許所持者は対象外 5日間	15名	2月17日(火)	2月25日(水)~29日(日)
大型特殊自動車 普通運転免許所持者 4日間	3人	2月24日(火)	1組 3月 2日(火)~3月 5日(金)
	3人		2組 3月 5日(金)~3月 8日(月)
	3人		3組 3月 9日(火)~3月12日(金)
	3人		4組 3月16日(火)~3月19日(金)
	3人		5組 3月23日(火)~3月26日(金)
玉掛 3日間	30人	3月 2日(火)	3月15日(月)~17日(水)
車両系(整地ほか用) 大特免許所持者は対象外 5日間	10人	3月11日(木)	3月22日(月)~26日(金)

▲ 詳しくは技能講習班窓口までお越し下さい。 ▲

「あったかいおくりもの」  
きりばいかかく  
桐灰化学(株)からカイロ寄付  
きびしい寒さが続くなか、カイロの希望者が急増していますが、桐灰化学(株)からカイロ9,600個の寄付をいただきました。

#### 「低温やけど」に注意!

カイロを肌に直接あてたり、ぬる時に長時間使用すると、「低温やけど」をする場合があります。ご注意ください。

けんたいしきょうていせふ  
建退共手帳  
預かっていきます  
1月末日までに申し込まれた方は、福祉係窓口まで!  
建退共加入事業所の案内も、窓口でしています。

1月の求人数		対前月増減比	前年同月増減比
現金	52,289名	-17.1%	5.6%
契約(延べ数)内、センター窓口	28,786名	-45.5%	-26.8%
	5,362名	91.4%	19.5%
高齢者清掃紹介人数	6,078名	-4.8%	11.2%

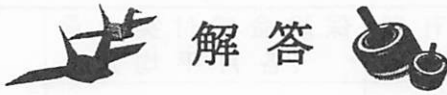
1月の求人情報  
景気回復を願った年明けの願い事。政府統計によれば上向き傾向と発表されているが、釜ヶ崎での仕事量はあいかかわらず増加傾向にはない。窓口求人数は昨年と比べ20%近く増加している。

しかし、直接飯場に入る寄り場からの相対求人が激減しており、全体では27%も落ち込んでいる。例年のように早朝時の寄り場が騒音で騒がしくなる日が待ち遠しい。

カマヤん ありあらか



お正月クロスワードパズル



ト	ナ	カ	イ		ア	ト	ム
ヨ		イ		サ	ト		イ
ト	ン	コ		イ	カ	ス	ミ
ミ		ウ	ス		タ	ン	
ヒ	メ		キ			シ	カ
デ	イ	サ	ー	ビ	ス		ラ
ヨ		ン		ル	イ	ボ	ス
シ	ン	ソ	ツ		カ	ラ	ミ

答えは「ナカムラミツコ」  
(中村美律子)でした。  
応募総数44通、正解者44名の中から、抽選の結果、下記の10名の方が当選されました。  
(当選された方には、賞品をお渡ししますので労働福祉係の窓口へお越し下さい。)

当選者の皆さん(敬称略)

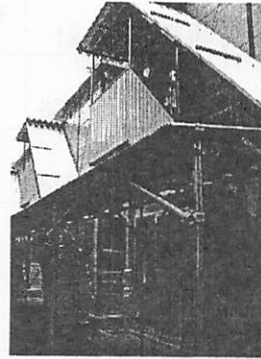
- 稲田 純二 ・ 大住 清
- 尾崎 拓男 ・ 木口栄次
- 柴山 静夫 ・ 武石良一
- 田中 義和 ・ 花浦小太郎
- 宮里 盛治 ・ 吉川正則

萩之茶屋シエルターオープン

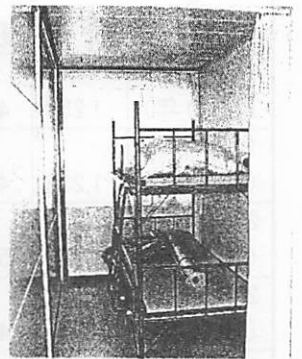
(萩之茶屋緊急  
臨時夜間避難所)

新しいシエルター(萩之茶屋)が完成し、1月22日から利用が開始されました。  
定員は440名で、三角公園南シエルターと合わせて1040人が宿泊できます。  
居室は2人用個室になっていて、畳敷きの2段ベッドには、断熱マットに毛布が数枚用意されています。三角公園南のシエルターに比べて大きな窓が各部屋にあり、風通しと日当たりが良く衛生的な感じですよ。中廊下のカーテンを開けると個室になり、配慮のあところがえます。

屋外には個室で更衣スペース付きのシャワールームが16室、洗面場、水洗トイレ(和・洋式)などが設置されています。  
利用時間は、午後6時30分から翌朝5時までで、利用には、いままでと同様、毎日夕方1階寄り場にシエルター1階寄り場に配布される利用券(無料)が必要です。  
西成愛隣会が管理し、NPO釜ヶ崎支援機構が運営にあたっています。



シエルター建物外観



シエルター室内(2段ベッド)

結核検診

あいりん労働福祉センター北側で結核検診を受けた下記番号の方は特に注意を要します。医師による無料検診を行いますので、連絡してください!

【検診番号】

【2月3日検診分】

1432・1435・1457

【連絡先】

大阪市保健所分室  
(更生相談所3階)

電話6632-2600

次回検診3月2日(火)

(住之江鍼灸センター「ツボの話」より)



ツボの位置は、人差し指のつめの付け根で、親指側の角から少し離れたところ(図)にとります。指全体にグリーンと響く感じで、五〜六回指圧するとよいでしょう。

けんご 豆知識

かぜのひき始めに

しょうご 商陽

かぜひきの初期症状としては、背すじや首すじがゾクゾクするような寒気や、のどがいがらつばいなどの違和感などがあげられます。これは、のどの粘膜や、背すじや首すじの血行が悪くなるために起こるもので、この血行不良を改善すると、長引かずにかぜの初期症状をくいとおさすことができます。

人差し指の先に「しょうご」というツボがあります。東洋医学で、気脈の流れの節目とされます。

- 原金古致
- 木光賀田
- 哲成義健
- 男直明一

(敬称略)  
労働相談  
窓口まで

- たずね人
- 関谷 雄治(大阪) 28
  - 平山 良光(兵庫) 52
  - 栗山 博(神奈川) 63
  - 宮川 嘉宏(高知) 56
  - 矢野 寛(高知) 56
  - 深海 徹(山口) 53
  - 松山 真己(大阪) 52
  - 前川 鐘吉(兵庫) 53
  - 伊藤 勝康(奈良) 47
  - 鈴木 尊徳(神奈川) 30
  - 岡田 正敏(和歌山) 45
  - 島川 敏信(兵庫) 53
  - 城田美知子(大阪) 51
- ( ) 内は出身地、年齢(敬称略)  
【8月1日~2月10日受付分】

釜ヶ崎日誌

- 12/6 反失連 中之島野営地で野宿生活者無料法律相談が開かれる(主催:ボランティアの弁護士グループ) 6・7・26・1/14
- 12/18 もち代支給日
- 12/18 ありあらか「カマヤんの野営」漫画ホームレス問題を出版(センターだより掲載マンガ等を収録)
- 12/24 (大阪府) 1/14 (大阪府) 大阪府・大阪市がホームレスの自立支援等に関する実施計画案を発表(意見募集)
- 12/25/1/10 第34回釜ヶ崎越冬闘争(主催:同実行委員会)
- 12/27/1/5/6/7 シヤワー室無料開放(4日間)
- 12/29 反失連が中之島野営地を47日ぶりに撤収
- 12/29/1/7 大阪府が年末年始緊急臨時泊所を南港に開設

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】

(表Ⅱ-12)

年度	項目 新求職者数	規 求職者数	年度末有効 求職者数	保険金給付実人員 (各月平均)	給付延べ日数
1998(平成10年)	2,081		14,257	9,234	1,211,666
1999(平成11年)	2,215		13,932	9,354	1,325,759
2000(平成12年)	2,192		14,062	9,726	1,343,017
2001(平成13年)	1,519		12,710	9,397	1,311,069
2002(平成14年)	1,010		10,491	8,224	1,149,711
2003(平成15年)	950		9,027	7,067	991,085

健康保険取扱状況【玉出社会保険事務所】

(表Ⅱ-13)

年度	被保険者手帳				年度末 有効手帳	受給資格者証				受給資格 確認	傷病手当 件数
	新規	更新	再交付	計		新規	更新	再交付	計		
1998 (平成10年)	1,258	4,880	918	7,056	7,812	736	4,531	647	5,914	39,789	863
1999 (平成11年)	1,233	4,789	856	6,878	7,563	727	4,340	628	5,695	39,106	468
2000 (平成12年)	1,203	5,137	830	7,170	7,301	825	4,734	627	6,186	43,480	350
2001 (平成13年)	911	4,810	676	6,397	6,676	609	4,442	543	5,594	40,954	326
2002 (平成14年)	549	4,039	520	5,108	4,957	476	5,491	431	6,398	33,371	257
2003 (平成15年)	491	3,352	372	4,215	4,043	331	2,779	291	3,401	29,031	197

日雇労働者福利厚生措置事業状況

(表Ⅱ-14)

年度	夏 期			冬 期			合計支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
1998 (平成10年)	16,900	13,494	228,048,600	18,400	13,235	243,524,000	471,572,600
1999 (平成11年)	16,900	12,810	216,489,000	18,400	12,648	232,723,200	449,212,200
2000 (平成12年)	16,900	12,683	214,342,700	18,400	12,749	234,581,300	448,924,300
2001 (平成13年)	16,900	12,461	210,590,900	18,400	12,012	221,020,800	431,611,700
2002 (平成14年)	16,900	10,724	181,235,600	18,400	9,840	181,056,000	362,291,600
2003 (平成15年)	16,900	8,948	151,221,200	18,400	8,401	154,578,400	305,799,600